

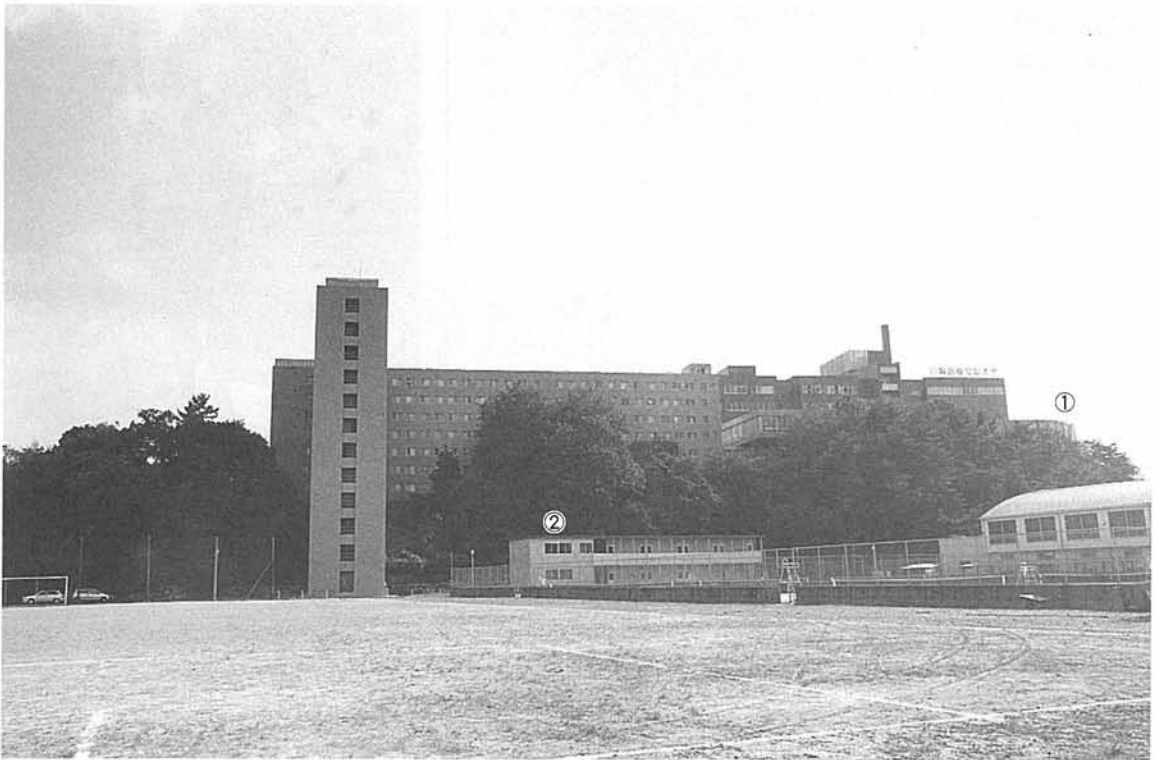
1993
PIPETTS
第12号
KAWASAKI

PIP

Vol.12

ETT'S

第12号



①医療デザイン科②新クラブハウス

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）
臨床検査科支部会誌

元気のでる本 われらの PIPETTS!!

第12号

page 4.....心機一転
「ヒポクラテスの誓い」を思い起こして.....上田健太郎

...各期卒業生より...

3期生	5	近況報告	島村 範子
4期生		「温故知新」	下岡 瑞恵
6期生	6	「専業育児しています」	香西美穂子
7期生		近況報告	小林伊津美
9期生	7	「太ってしもうた」	高津 昌吾
10期生		工事現場と十二単	宮永 美恵
12期生	8	『仕事・出産・家事・育児』	森岡 知子
13期生		近況報告	山田 靖子
14期生	9	私の職場	西川かおり
17期生		近況報告です!	城 千昌紀
18期生	10	時 間	石松 昌己
	11	3期生同窓会レポート 8期生同窓会レポート	
	12	短大より	
	15	心温まる寄付に感謝	下田 健治
		——中央アフリカ共和国——	
		第19期生 編集後記	



東京ディズニーランドにて

何度行っても楽しい所ですよ!
是非遊びに来てください。
3期生 島村(田中)さん
(^o^) 遊びに行ったら泊めてくれるかな!



フィジー マナアイランドにて

10期生 宮永(仁田)さん
(^o^) 新婚旅行!? 青い空,
遠くまで続く地平線
カラーでお見せできないのが、
残念です。



わが家の わんぱくトリオです。
いつでも見学に来て下さい。
6期生 香西(田村)さん
(^o^) 育ち盛り!って感じ
おかあさんがんばって!

ケン ト ミ サト
健人と美里です。
ヨロシクね!!
12期生 森岡(武元)さん
(^o^) そっくり!双子かな?



職場にて
左から 14期生 児玉さん
4期生 金本さん
4期生 下岡(財間)さん
13期生 吉岡さん
(^o^) 金本さんは、この写真のために
散髪されたそうです。

巻頭言

心機一転
「ヒポクラテスの誓い」を思い起こして

吉備高原医療リハビリテーションセンター
検査科 上田健太郎

若葉もしだいにその色を深め、やがて入梅の時期になろうとしています。同窓生の皆さん、お元気でしょうか。

当臨床検査科支部に今春新たに、第18期生の皆さんを迎え入れることになりました。加え、支部会誌 PIPETTS も第12号を発行する運びとなり誠に喜ばしいことと思います。

さて当号を発行するにあたり、寄稿を依頼され、先輩諸氏が書かれた稿をもう一度読み返すことと致しました。各号が手元に届いた当初は、さっと読み返していたように思う投稿も、改めて読み返せば懐かしさ、教訓の数々。なかでも恩師山口 司先生の書かれた「ヒポクラテスの誓い」によせては、鋭く心を見透かされているようで改めて先生の人間性、偉大さを痛感いたしました。

就業間際に出された検査で内心ガクッときたりすることは、過去経験したことでもあり、ときについ「エー今から」なんて言葉を口にしたこともありました。その直後、後梅の念に駆られながら。ふと冷静になって、医療の道に入って10数年、あままだまだ未熟だなあとつくづく反省させられます。

医療現場にいる同窓生の皆さん、どうか私のように「ヒポクラテスの誓詞」を忘れることのないよう、また他の職場についている方、いない方、家庭に、職場にますます活躍されることを記念いたします。

最後に「ヒポクラテスの誓詞」を改めて思い起こさせていただいた故山口先生ならびに本会誌編集委員の皆さんに感謝します。

(追伸)

私事ではありますが、昨年、17年間お世話になった川崎医科大学付属病院を退職し、現在の病院に勤務してはや1年、心機一転日々励んでいます。ときに、ふと、川崎医大時代の同僚、苦勞、教訓を思い出しながら。

近況報告

3期生 島村 範子

職場で管理職になられた方、後進の指導にあたられてる方、意欲的に仕事にとりくんでいる方、家庭で育児に専念している方、皆さん各社会の中でご活躍のことと思います。私は後者の方です。範ちゃんは今頃何しているのかしらと思ってくれる人がいるかもしれないので少し私の近況をお知らせします。結婚を機に埼玉県の大宮市に住んで11年、9年目に鶴のご気嫌がよくて息子に生まれ、89才の祖父、母、主人、そして好奇心旺盛で全てに楽しくてしょうがないのですが、反抗期を迎えて“イヤ”とか“ダメ”を連発するようになった、たのもしい息子を相手に毎日があっという間に過ぎていきます。子育てサークルとか趣味のサークル活動、ときどきでかける講演会等でたくさんの人と出会っていつも感じるのは食生活の大切さです。家族の健康のもと主婦である私の役割と自覚して、ストレスの多い社会の中でそれに負けない丈夫な身体と精神を養う為には食べ物だと思えます。下降食品が氾濫している中であっても、豊かな大地に太陽の光をあびて育ち、自然界の“気”が充実した本物の食材を使って季節にあったものを心をこめて料理し食べてもらう事は自分の幸福であり家族も幸福になれることだと思います。専業主婦歴は長いけど何かしら社会と接点をもちつつ家族が心穏やかにやさしく、心豊かな明るい家族である為に、私自身目がキラキラと輝いて前向きなエネルギーを感じる元気な女性になれたらいいなと思って努力しているこの頃です。

♡♡♡

冷たいものが美味しく感じられる季節になりました。ビール、ジュースの飲みすぎに注意しましょう。胃を冷やすのは病気のもとですよ。

♡♡♡

“温故知新”

三沢地区医療センター
4期生 下岡 瑞恵(旧姓 財間)

“古きをたずねて新しきを知る。”4期生男性諸君のいた、小郷邸隣の温知寮は、今でもあるのでしょうか。皆様お元気ですか？気が付けば、私も三十代半ば、あの頃とは、世間にもまれた分、少しは大人になったかな。

我家は今、8人家族で、小三の長男、年長組の長女、主人と主人の両親、主人の祖父母とでにぎやかに暮らしています。同居もいろいろとありますが、結婚10年目にしてやっと割り切れました。我ままな私も、相手の立場で考えるように努力しています。好きな仕事を続けさせてもらっていること、感謝しています。

職場は、実質は検査センターですが、医師会病院が出来、病院の検査部になっています。病棟検査もありますが、殆ど開業医からの検査です。一生けんめいやっていても、金銭的な事を言われると、つらいものがあります。

幸い、同僚に4期生金本さん、13期生吉岡さん、14期生児玉さんがいて、心強く思っています。仕事上の事も遠慮なく言い合っています。新しいコンピューターで、忙しくしています。個人データの検診から通院データまで総合的に管理出来るものですが、ついていく私達も一生けんめいです。

白金線で、コロニーをつつくと、“My name is E. Coli”と答える魔法を考えてくれるともっと尊敬するのですが。(ちょっと怠慢?)

検査技術も随分と進歩し、サンズベットの製造も、従来のものはないそうです。ちょっとさみしい気がしています。

“時に磨かれる大人になりたい” 気に入っている一節ですが、忘れずにいたいと思っています。

また、何かの折に皆様にお会い出来る事を楽しみにしています。

お元気です！

「専業育児しています」

6期生 香西 美穂子

懐かしい友からの電話——「わーっ久しぶり元気してる？」と軽くしゃべり始めたのが運のつき。お互いの話をしばらくした後「……本題に入るんだけど pipetts のなあ!!」「あッやられた!」と思いながらその懐かしい声に負けひきうけてしまったが時間は経つばかり。

思えば、短大卒業後、就職・結婚・一人め出産・退職・主人の親と同居・二人め出産・姑の死・三人めのお産と色々あったなあと思いついてみた。今やどっぴりと専業育児にかかっている。まちがえと専業主婦と言えない。しかし、そろそろ自分の時間を持つのもいいなと思いついて昨年より市民講座のペン習字と料理に通っている。また違った世界も良いものだ。子供達のことを考えない時があってもいいかな。その子供達、なんと、3人とも男の子。本当ならば、宝物をお見せして3人のおしゃべりぶりを披露したいところだが、皆さんがビックリしてびっくり返ってほしい、今回は写真と短い紹介にとどめておこう。

まず、画用紙とハサミを持たせれば、独創的な合体ロボットをつくりあげるのが得意で、図鑑を見るのが好きな going my way タイプの小学二年生の一樹。朝の5:00に起床庭でサッカーの練習をして、夕方になると新聞を手にすもうに見入る体育系5才の健だ。好きな食べ物、ビールとワサビと梅干しと紅しょうがと——、ちょっと変わった味覚の持ち主で、おしゃべりの方も大人級。わが家のクレヨンしんちゃんこと3才の信弥。

このトリプルパワー全開の毎日に、この母はふり回されているにもかかわらず、育児に協力的な主人はただ今スペインへ出張中。この母、工作もサッカーもビールも苦手なのにどうしよう。とは言うものの、子供に教えられる事も多く、これから子供と共に成長し、私は私なりにひとつずつ新しい何かに挑戦したいと思っている。すてきに歳を重ねていきたいな。こんな親子が暮らしている玉野渋川方面へお越しの際は、ご連絡下されば人なつこいワンパトリオが出むかえてくれると思いますので、ぜひ一度いらして下さい。

最後に、6期生及び同窓生の皆様、またいつか会える日を楽しみにしております。お元気で……。そして、編集発行に関わっている皆様、いつもたのしい pipetts をありがとう。

近況報告

7期生 小林伊津美 (旧姓 狩屋)

——あれは6月1日の朝のことです。「ハイ、これよろしく!」と主人(某川大病理の小林技師)に封筒を手渡され、「えっもう私の順番?」と中を見てみると、な・なんと“5月末日までお願いします”とのこと。驚いて聞いてみると「新井くんは連絡がとれなかったからたのむな。」というのです。私はただのキープちゃんだったのです!! ひどーい、とブンブン怒りながらもまあ“貸し”を1つつくっておこうかとペンを走らせています。

今年で就職して12年め、結婚して9年めになります。まあ先に書いたようなことが日常茶飯事の一言で言えば学生時代からちっとも進歩のない夫婦関係をしています。とは言っても子供も2人も生まれ(5才と1才半)上の子がもう来年には小学校にあがるのですからしっかり年はとっているようです。

子供は主人の母がみてくれますので、仕事はなんとか続けています。倉敷中央病院で生理検査の腹部超音波を担当しています。まわりに若い子が多いせいか自分の年齢をすっかり忘れて一緒にトレンドードラマの話に花を咲かせたりして楽しく働いています。倉中には、毎年夏には実習で短大生が来ますし、2人ずつくらい就職してきますので現在の川短の様子もよく聞かせてもらっています。まあ何と言っても楽しみなのは、主人の仕事ぶり、実習の指導の様子を聞くことです!! 結構きびしい技師さんをしているようですが、家庭での彼を考えると……。次に原稿の順番がまわってきた暁には、小林技師のあれこれを暴露することをお約束して今回は終了させていただきます。これで、実習生も楽しい病理実習がおくれることでしょう。(しかし、2度と順番がまわって来ないような気がしません。なにしろ相手は7期の幹事さんですものねー。)

「太ってしもうた」

9期生 高津 昌吾

6月になると夏がすぐそこまで来たような気がしませんか? ビールが美味しくなるんです。僕の場合は1年中美味しいですけど……。そのせいか最近(じつは昨年秋あたりから)少々太り気味なんです。

なぜそれを自覚したか? 去年少し大きめだったスキーウェアがちょうどいい。ひさしぶりに着た皮ツナギのお腹がきつい。野球のユニホームがみっともなくズボンからはみ出る。服のサイズはLLがゆったりしてて着ごこちがいい。白衣ズボンのホックがとれた。動くのがおっくうだ、腰より低くかがむのが苦しい。心あたりのある人はいませんか? ひとつくらい思いあたるあなた、今のうちにぐうたら生活から脱皮を!

これはたるんだ私生活がたるんだお腹を削るんだろう。寝食を忘れるような趣味を持たねば。春と秋は競馬。緑の芝にピロードに包まれた鋼のような馬体、たてがみが夕陽に輝いて美しい。夏は競艇。鋭くターンする時のガラスのような水しぶきが一服の清涼感を与えてくれる。そして四季を通じてパチンコ。暑い時には涼しく、寒い時には暖かく迎えてくれる。数字が絵柄だったみつつ揃うだけで至福の時間を与えてくれる。しかしよく考えてみると、こんなことで貴重な時間をつぶすなんてもったいないですよ。思いあたるあなた、今のうちに健康的な生活への脱皮を!

胸に手をあててよ〜考えてみると、どうも太り始めたのはミニバイクレースに出なくなってからのような気がする。そういえばレースの前には減量してたからなあ。大好きなバイクに乗らなくなったからこんな体型になったんかいな。よし今年バイクに乗るぞ、レースにも出よう。31歳からの再挑戦を心に決めた。一度しかない人生だから楽しくなくちゃ。没頭できる趣味は人生にちょっぴりスパイスを利かしてくれますよ。仕事が趣味じゃない方は、何かひとつ、できれば健康的な趣味をみつけて下さいね……。

工事現場と十二単

10期生 宮永 美恵 (旧姓 仁田)

皆さん、お元気ですか? 10期生の殆どの方が今年30代に突入します。鏡を見る度に、しみやしわの数を確認してしまう人も多いのでは? さて、短大で習得した技術や知識を捨て転職した人もいます。私もその中の1人です。卒業してから今日まで、私が何をしていたかお話ししたいと思います。

最初の4年間は私も検査技師として病院に勤めました。そのうちもっと違う世界を覗いてみたいと思うようになり、何気なく見ていた雑誌の中にマッキントッシュという名の椅子を見つけました。なんて綺麗な形だろう。椅子だけでなくインテリアに感してもっと深く知りたい。と思い、病院を退職してインテリアスクールに通いました。その後、店舗の内装関係の会社に就職。まず最初にした事は、工事現場の管理です。計画図面を見て工場に発注し、出来上がった製品を店舗に納めるという仕事です。男性と同じ様にヘルメットをかぶり、右手に図面、左手に携帯電話という格好で、昼も夜も無くドロドロになっていました。時には失敗して会社に損害を与え、時には現場で大工さんに怒鳴られながら、何とか認めてもらえる様になりました。よし、次は建築の基礎から勉強をやり直そう。そして二級建築士の免許を取得しました。時期を同じくして、主人と知り合い11月3日に結婚。彼が神主をしている事もあって、私の花嫁衣装は十二単でした。

何かと回りの人を驚かせる事が多かった私ですが、今年の9月には母になる予定です。会社も退職し、今はのんびりとマタニティーミュージックを聞きながら、妊娠・出産に感ずる本等を読んだりして、育児に追われるまでの小休憩といったところです。

P.S. 4期生の先輩方、姉は検査技師として頑張っています。長男は中学2年生、次男は小学5年生になりました。

『仕事・出産・育児』

川崎医大附属川崎病院
12期生 森岡 知子 (旧姓 武元)

こんにちは！皆さんお元気ですか？私は、毎年、PIPETTS が届くのを楽しみにしています。今年は私の番なんです。下手な文章にしばし付きあって下さい。

私は、今、仕事・家事・育児に全力投球中です。もしかしたら全部中途半端かもしれませんが、私なりに頑張っています。昨年1月に二つの命を授かる、という幸運(!?)に恵まれ、出産、現在28歳で1才4カ月の一男一女の母となりました。

初めて妊娠し、双胎だとわかった時は、何で私に(!?)という驚きと、生命誕生の『神秘』というか、『謎』というか、をひしひしと感じました。そしてつわりを経験し、母となることの厳しさを味わい、だんだんと大きくなっていくお腹をながめながら出産までの長い道程を過ごしました。

と同時に、出産後も仕事を続けていけるだろうか、という不安がありました。一度は辞めようかと思ったのですが、義母が「子供は見てあげるから、仕事を続けたら？」と言ってくれるし、子育てが終わってまた働きたいと思った時、再就職するという事は、そう簡単ではないかもしれないと思い、頑張って続けていこうと思いました。川崎病院には、子供が生まれても仕事を続けている方がたくさんおられるし、私にもできるかもしれないなと思いました。幸い、子供も丈夫であり病気もせず、両親も元気で、こまめにかわいがってくれるので、大変助かっています。本当にまわりの人たちの協力には感謝しています。

毎日、分刻みの忙しい生活をしてしていますが、仕事の疲れは、帰って子供の顔をみると消え、育児のストレスは仕事に出るとなくなってしまう。自分にとっては、理想的な生活をしているな……と、結構満足している今日この頃です。

それでは、皆様の御健康と御多幸をお祈りし、またいつか会える日を楽しみにしています。

近況報告

姫路市医師会
13期生 山田 靖子 (旧姓 中山)

13期生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

どういうわけか、同期生の猪尾さん(旧姓：孝橋)さんから突然この依頼が……。いざ手元に届いてあるとなかなか書き始められず、すっかり期限を過ぎてしまい、とりあえず近況だけでもと、やっと書き始めた次第です。

早いもので、姫路市医師会に勤めてから、この4月で6年目に突入しました。6年間、血清学検査から離れられず、今では一番の古株となってしまいました。(でも年齢は一番若いです。)朝は8時30分ギリギリに出勤し、夕方5時のチャイムとともに退社。まるでOLの様な平凡な毎日を過ごしています。

そんな私も、昨年5月に結婚し、今では働く妻をしています。1年目の結婚記念日を先日むかえ、仲よく新婚生活を送っています。結婚式には、遠くは静岡から岡山まで、出席して下さった同期生の皆さん、ありがとうございました。あの日からもう1年が過ぎようとしています。一日一日がとても早く、あっという間に過ぎた様な気がします。

今は、仕事と家事の両立で忙しい毎日を送っていますが、私の勤めている検査室は、主婦が多く、働きやすいので、どっぷりとつきりきってしまい、ずっといすわってしまいそうです。でも忙しい中から余裕を見つけては、休みになると、冬はスキーに、今季節はゴルフにと、あけてくれています。4月までは、休日を利用して主人と2人でゴルフスクールに通ったり……。子供は？と同期生に会うたびに聞かれますが、当分先の話になりそうです。

最後になりましたが、13期生の皆さん、また同窓会でもあればぜひお会いしたいですね。では、みなさん、お元気で。

私の職場

岡山労災病院
14期生 西川かおり (旧姓 永長)

“あーきてしまったあー”っていう感じでしょうか。このPIPETTSの原稿依頼が届いてから頭の中は何を書こうかとそのことばかり。色々考えたあげく、一番身近な職場の事を書くことにします。私の職場は、岡山市の南に位置する児島湖のすぐそば、岡山労災病院です。就職して早いもので5年目に入りましたが、5年目の私が一番下。いつまでたっても新米という気持ちも抜けきれず、みなさんに甘えてばかりです。今年から週休2日制となり、ちょっと足をのぼして1泊2日の小旅行ってすることも出来るようになったし、のんびりと休みを過ごしています。でもその反面、平日の仕事と休みの日直にしわ寄せがきて以前よりも仕事量が増えたように思います。

話は変わりますが、検査室にはいつも花がいけられていて和やかな雰囲気になっています。特に検査待ち合いのところに置いてある花は、イライラしながら待っている患者さんの精神安定剤になっているのではないのでしょうか。それからミニ栽培もしていてセントポーリア、ぼとす、アロエ、蘭、あさがおなど数種類。検査室がある程度一定の温度に保たれているせいか、非常に発育が良くてイキイキしています。中でもセントポーリアは年中花が咲いていて私たちの目を楽しませてくれています。実は、私の家にしょぼくれたセントポーリアがあって…買ってきて以来花も咲いたことがないのですが…それを検査室にもってくると、何と一か月ちょっとでつぼみがつき、2か月でピンク色のかわいい花が咲きました。こんな環境の中で、私もこの花たちのようにすくすく育っていききたいものです。みなさんのお宅に、眠っている花があれば是非、うちの検査室にあずけてみてはいかがでしょうか。

近況報告です！

東芝メディカル
17期生 城 千昌紀

皆様、お元気ですか？

おもいがけず、17期生の2番バッターになってしまいました。

はやいもので、卒業してもう1年たったんですね。

お仕事のほうは、いかがですか。

わたしは、広島に帰り、現在東芝メディカルで、ようやく1年間の研修を終わり、この4月から正式に、MRIの操作のオペレーターをしております。

現在は、当社のMRI既設病院を中心に、自分達(先輩と2人でやっています)の範囲である中国地方全体をまわっています。

比較的、岡山が多いのでよくいっています。みんな、そのときは連絡いたしますので、遊んでやって下さい。

たまに行った先の技師さんと話していたら、同じ盛り上がりしてしまったことも何度かありました。「川崎の臨検の出身なら少々いじめて大丈夫じゃな」と川崎の放射線科出身の技師さんに言われたときは、同じ学校出身という気安さだけだろうかとおもわず考えました。

いろいろな偉い人とお会いするから、結構胃が痛くなることもある反面、同級生にはない考え方などが聞いて勉強させてもらっています。皆様のいらっしゃる病院にもいくかもしれませんが、どうぞ気軽に声でもかけてやってくださいませ。

学生時代もたいへんだったけど、社会にできれば、また違った面で大変だなと思うと共に学生時代の気軽さが妙に懐かしい今日この頃です。

それではここらで近況報告を終わることにいたしまして、皆様にまた会える日を楽しみにしています。

時 間

川崎医科大学附属病院
18期生 石松 昌己

光陰矢のごとしという言葉がありますが、就職してからこの言葉を痛切に感じます。学生の頃は、授業を受けていても、長いなあ、早く終わらないかなあと思う事がしばしば、やらないといけない事があっても、まだ時間があるから今度にしよう、明日でもいいやと延ばし延ばしにする事もよくありました。しかし、就職してからというもの、時間のたつのが早いには驚いてしまいます。一日でも早く一人前にならなければならないので必死でもあるし、緊張しているからでしょう。覚えなければならない事も山ほどあり、息つく暇もなく、気が付けば外は真っ暗になっていて、もうこんな時間なのかという毎日です。だから、今しなければならぬ事は、今しか

できない、後回しにすれば次は無という事がわかった様な気がします。あれこれしたい事があっても、ぼんやりしていると時間がたっていてできないという風が毎日過ぎていき気がつけば、2年、3年たっていたなんて事になるとぞっとします。何もしないうちにもう五年なんて事にならない様に、忙しくても、自分が何をしたいか、何をしなければならぬかを常に考えていこうと思います。

それから、余暇の使い方を大事に考えるようになりました。とかく、日本人は、余暇の使い方が下手だと言われています。その原因の一つとして、これといった趣味を持っていない事があるように感じます。一日ゆっくり寝て体を休めるのも良いのですが、この自由な時間を大事に使い、人間の幅を広げるために、趣味を持ち、増やしていきたいものです。

時は金なりといえます。毎日の惰性に流されないように、時間の無駄使いだけはしないようにしたいです。

3期生同窓会レポート

平成4年8月1日に高知県土佐市の観光旅館“三陽荘”で、三期生の同窓会が開催されました。

3月に行われた徳永先生の講演会に同席した同期生からの強い要望もありましたが、高知医大の小倉さん、松本さんの全面的な協力を得て、10年ぶりの開催にこぎつけました。当日、恩師の佐々木匡秀先生、佐藤彰一先生には、御多忙にもかかわらず、御出席下さって、会は一層盛り上がりました。

岡山近隣からは、男性陣はJRで、女性陣は高速バス（龍馬エクスプレス）で南国高知を目指しました。

参加者は全部で15名でしたが、夏休みということもあって家族旅行の途中で合流してくれた方もいました。一泊同窓会でしたので、皆くつろいだ雰囲気では進み、高知名物の四鉢料理や辛口のお酒に舌鼓を打ちながら、懐かしい思い出話に花が咲きました。三期生も卒業して15年、仕事や家庭での責任も重くなり、毎日を目まぐるしく過ごす中、同期生と語り合い、お互いの活躍や健康をわち合った数時間は、とても貴重なものでした。

それにも増して、恩師の先生方の御活躍ぶりは私達にとって大きな励みになったことと思います。翌日、同窓会プラス小旅行と、私にとって思い出深い夏のひとときになりました。最後になりましたが、今回参加御協力して下さった方々、本当にありがとうございました。この様な会が今後も持てる様、代表者二人で頑張りたいと思います。

末森 一恵

8期生同窓会レポート

8期生は平成4年11月 日、岡山アークホテルにて卒業後2回目（9年ぶり）の同窓会を開きました。出席者は15名と少なめでしたが、みんな忙しい中よく集まってくれました。

「みんな変わっていないなあー」と言いつつ話題の中心はどうしても家庭と仕事のことでした。卒後10年にもなると職場でも家庭でも、責任の大きさを常に感じるようになります。そんな中でみんなよく頑張っているんだなと実感しました。特に、技師として母として仕事と家事・育児をこなす諸君のたくましさには頭の下がる思いでした。

懐かしい顔を見ると短大時代の事が、ついきのうの事のように思い出されます。厳しかった基礎実習、病院実習、楽しかったクラスコンパ、学園祭……。すべてが今の自分たちのパワーの源かもしれません。

しばしの憩いとさらなるパワーを与えてくれた貴重な数時間でした。今回出席できなかった人も、次回はぜひこのすばらしい時間を共有しましょう。

最後に、皆さんのご健闘を祈りましてペンをおきます。

河川 豊



〈短大より〉

皆様、お過ごしですか。

短大では、21期生入学の慌ただしさもようやく一息ついたというところですよ。入学式に始まり、基礎実習に学外研修・交歓会・検査科球技大会（バレーボール大会）と皆様もなつかしい思い出のよみがえる（!?）行事が続きました。しかし、時代は確実に流れているとも言えましょうか……基礎実習もずいぶん変わりました。佐藤先生お得意のガラス細工や木工の実習がなくなり、遅くまで居残り実習をする学生の姿が消えました。ヒサシ山への恒例はいくも今はもう伝説のようになってしまいました。昔の恒例行事が無くなっていくのはちょっと寂しい気もしますが、これも時代の流れ……少しずつ新しい検査科に変わっています。母校の発展は私たちにとっては大きな誇りです。変わりゆく短大の姿をどうかまた一度ご覧下さいませ。ほんのひとときでも日常の忙しさや煩わしさを忘れさせてくれるかも知れません……。

短大すとお〜り〜

季節は初夏——。

久しぶりに短大へやって来た。玄関前のこの風景もあの頃とあんまり変わっていない。桜の花に魅せられて宴を開いたこともあったっけ……

おや、きれいな外灯が何本か立っている。平成4年度卒業生の寄付らしい……

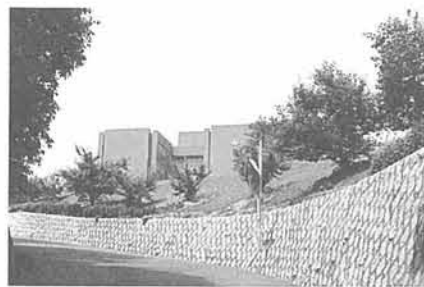


あの頃の通り慣れた坂道を下りていく。爽やかな陽射しの中で、ふと頭を上げると、そこにはあのなつかしい校舎が見え隠れする。

昔と変わらぬその姿に、思わず立ち止まる。そう言えばいろんなことがあったよなあ。

よく、この坂を通ったっけ……

よく、こうやって短大を見上げたっけ……



坂を下りきってグラウンドの方へ目をやる。昔ここにはボロボロのクラブハウスがあったんだよね。代わりに長さ46mの駐輪場二張り（自転車230台、バイク75台収容可能）が改築されたんだよ。その左手には駐車場が見えている。

ほんとに昔はこんなものなかった……



ぐ〜と目をテニスコートの方へ向けてみる。今日は佐藤先生はいらっしゃらないだろうか。おや？あの有名な川崎医療福祉大学が見えている。短大と目と鼻の先ではないか。

手前の体育館の屋根、みょ〜に赤くてきれいだよね。入学式も卒業式もあの中でやったんだっけか……



そうそう、グラウンドの端っこにこんな看板があったよね。栄養科とか医用電子科とか増えてたんだけど、今度栄養科は医療福祉大学の臨床栄養学科に発展的に移行してしまったみたい。平成3年度から学生募集停止で、在学生の卒業を待って廃止の予定——と聞いている。この看板もまた変わっちゃうのかな



さっきテニスコートの南側所にプレハブが立ってたでしょう。あれが新しいクラブハウスなんだって。2階建てで部屋は14室、トイレはもちろんのことシャワー室まで完備されてるんだって、すごいよねえ。これで、ソフト部が強くなってくれば申し分ないんだけどなあ……こればかりは……

テニスコートの横を通って体育館の前に行く。平成6年4月に開設予定の医用デザイン学科棟の増設工事が始まっていて、それに伴って通称「学長坂」付近が通れない。だから、体育館前から校舎棟に通じる仮設通路がつけられた。

仮設通路を上れば、また短大校舎へ上がるんだけど、そろそろおいとましましょうか。デザイン学科棟はちょうど「学長坂」を登った辺り（サービス棟西北部）に造られるんだよね。4階建ての鉄筋コンクリートで半円形部分もあるんだって……早くできるといいよねえ。



こうして、なつかしい思い出を思い返しながら門を出ようとした時、ふと時計台が目にとまった（平成3年度卒業生寄付）。13:30すぎか……学生時代はよく居眠りしてた時間帯だなぁと思いながら短大を後にした。

おしまい……



——近況報告——

1. 18期生が卒業しました。

これで卒業生総数は870名（3名死亡）となりました。

2. 第21期生（61名）が入学しました。担任は土井先生、副担任は瀧山です。

3. 4月から山本誠一先生が第2学年（20期生）の副担任になられました。

本年度もこの紙上をお借りして、平成5年3月卒業予定の第19期生（担任：下田先生、副担任：福永先生）の名簿を掲載します。もし、皆様方の近くの職場で求人がありましたら、情報をお寄せくださるようお願いいたします。

川崎医療短期大学臨床検査科 第11期生 瀧山久美子

——ご冥福をお祈りします——

10期生 中村 由美子（旧姓正木）さんは、去る9月16日 闘病生活の末、永眠されました。謹んで、お悔やみ申し上げます。

心温まる寄付に感謝

——中央アフリカ共和国——

下田 健治

中央アフリカ共和国に対する医療援助の呼びかけに数多くの方のご理解、ご援助をいただき有り難うございました。中央アフリカ共和国国民になりかわり心よりお礼申し上げます。今年度は当初8月13日から出かける予定でしたが、大統領選挙の実施に伴う混乱が予測されるため派遣は11月に延期になりました。皆様からの顕微鏡や薬剤はその時に贈与の予定です。

私がこの医療プロジェクトに関係するようになって今年で約7年になります。その間、1988年、1990年、1992年の3回現地に出向き調査、検診に当たりました。中央アフリカ共和国に何度行きますとも同じ所と同じ建物があり、街を歩く現地の人々の様子もほとんど変わりません。のんびりした国で何処に急ぐのか、赤土を舞い上がらせて走り去る乗合タクシーは市民の唯一の交通手段です。時折出会うスコールは肌を刺すような陽の光を引き立ててくれます。灼熱の太陽に焼かれた大地は埃っぽい街を作り、発展途上国の象徴のような穴ボコだらけの道も昔のままです。そして、厳しい気候、不自由な生活環境にもかかわらず大人も子供もいつものように素晴らしい笑顔を見せてくれます。この国の時の流れは止まっているのかと思えるほど緩やかです。

中央アフリカ共和国には国立および県立の病院は11あります。しかし、医療事情は悪く、地方では薬品が極端に不足しており、また病床の絶対数も足りません。現地人医師は現在78名いますが、その70%は首都バンギーの衛生省か国立病院に勤務しています。外国人医師は約120名で、そのうち約半数が地方の病院か診療所で奉仕活動を行っています。医学部は1978年にバンギーに創設されましたが、毎年の卒業生が2～5名と少ないため、診療長のほとんどが看護夫です。

全国的にみた疾病では感染症が多く、最も多い下痢症のなかにはアメーバ性赤痢、腸チフス、細菌性赤痢が含まれています。河川水を飲食、水浴、洗濯用として共用しているためその感染速度は速いようです。更に、経皮感染する鉤虫や住血吸虫の感染者も多く、また媒介昆虫に対する対策も人が住まない広大な未開発の土地が存在するため困難で、マラリアやフィラリア症の患者も多くみられます。

富める国日本が発展途上国に対して物質的に援助することは比較的簡単ですが、援助とは何か、どうあるべきかを考えるとき私はその対応に困ってしまいます。私たち日本人は豊かで何不自由ない暮らしのなかで「人間として一番嬉しく思えることは何か」を知る機会も同時に失ってしまったような気がします。



【編集後記】

異常気象、異常気象と言われてる昨今、短かった夏も終わり早くも虫の音が聞かれる季節になってしまいました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 今年の夏は、冷夏だったために夏やせすることなく食欲の秋を迎え、ますます成長しようとしている“いわち（^O^）v”です。

PIPETTS の発行が遅くなった事をお詫びします。m（ー）mベコリ

前回の PIPETTS の表紙の写真に番号がふってあったのきずかれました？。

実は、クイズだったんです。（^O^；）^{タラ-}クルシイイワケこの場をかりて解答したいと思います。

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| ①川崎医科大学 | ②川崎医科大学付属病院 |
| ③救命救急センター | ④川崎リハビリテーション学院 |
| ⑤MM（多発性骨髄腫ではなくて
メディカル ミュージアム） | ⑥総合体育館 |
| ⑦川崎福祉大学 | ⑧我ら母校 川崎医療短期大学 |

何問正解しましたか？まさか⑧を間違えた人はいないでしょうね！

今年の表紙は、短大グランドより撮った川崎医療短期大学です。

写真には、写っていませんがソフト部の人には、なじみ深いクラブハウスが、なくなりました。そのかわり新しいクラブハウスがテニスコートの向こう側にみられます。また、写真の右、川崎医療短期大学の文字の下に円筒形の建物がみられますが、現在建築中の医療デザイン科です。

このように、母校・川崎医療短期大学も時代とともに新しくなっています。

近くに足を運びの際は、母校である川崎医療短期大学及び川崎医科大学付属院にお立ち寄りください。

編集委員（^O^）でした。

—追伸—

4期生 下岡 瑞恵（旧姓財間）さんより編集部に対して、寸志をいただきました。
ピベッツ発行等の援助とさせていただきます。ありがとうございました。

1993年9月28日 発行

編集委員 三宅康之、河口 豊、岩知道 伸久
三宅知子、山下京子、吉本美香

編集発行 川崎医療短期大学同窓会（松丘会） 臨床検査科支部
〒701-01 倉敷市松島316番地
TEL 086-462-1111（内3037）

印刷 西日本法規出版株式会社
〒700 岡山市高柳西町1-23
TEL 086-255-2181(代)

PIPETTS
Vol. 12